

第3学年国語科学習指導案

単元名 組み立てを考えて物語を書こう

教材名 「三年とうげ」 李^リ錦玉^{クムオギ} 作 (光村図書 小学校3年上)

1 単元について

(1) 児童観

児童は、「きつつきの商売」(光村図書3年上)の学習を通して、場面や登場人物の意味について知り、叙述を基に想像を広げ、二つの場面の様子やその違いを、大事な文や言葉に着目し比べながら読んできている。また、「こんなお話を考えた」(光村図書2年下)の学習では、三枚の絵から話を想像し、「始め—中—終わり」の簡単な構成を考えながら物語を書いてきている。

しかし、物語の四部構成や表現の工夫に着目して、登場人物の気持ちや情景の変化を想像しながら読んだり、自分で題材を決め、書く事柄を集め、物語の型を使って文章を構成して書いたりした学習経験はほとんどない。

(2) 教材観

教材文の「三年とうげ」は、朝鮮半島の村落共同体の仲むつまじい暮らしを描いた民話で、人を敬愛し、不幸も喜びも分かち合い助け合うという底抜けに明るく大らかな人々の姿が描かれている。トルトリ少年の機智にとんだ一言、発想の転換が、「三年とうげで転んだならば、三年きりしか生きられぬ。」という固定観念にとらわれた老人に力を与え、生き返らせる展開になっている。

この物語は、多くの物語に共通して当てはまる四部構成(物語の舞台の紹介、事件の発生、事件解決の糸口、事件解決)を備えながら、短くとらえやすくまとめてあり、物語を書く際に意識すべき、場面の構成要素や場面の組み立て方を学ばせるのに適した教材である。さらに、転がり落ちるなどの複合語を効果的に使うことで人物の行動が生き生きと描写されている。また、身振りや顔つきを表す言葉や会話文などから、人物の気持ちやその変化を豊かにとらえさせることができ、表現の工夫を学ばせるのにも適した教材である。

(3) 指導観

本単元では、物語の組み立てや表現の工夫などに着目して読み、読み取ったことを基にして、自分の物語を書いていく活動を行う。

事前に、「自分の物語」を書く上で必要な出来事を思い出させ、ワークシートに書かせておく。

第一次では、「三年とうげ」の組み立てに着目させながら、おもしろいと思ったところや理由を話し合わせ、「組み立てを考えて自分の物語を書き、敬老の日に祖父母に読んでもらおう。」という学習課題へとつなげる。さらに、学習計画を立てることで、見通しをもたせ、意欲的に取り組ませていきたい。

第二次では、「三年とうげ」の物語の組み立てを考えさせるために、あらすじマップに出来事の起りを中心にして、いつ、どこでなどの事柄を整理させていく。その後、四部構成については以下の点について読み取らせていきたい。

- ① 「はじまり」の部分では、「場」（時・場所・人物など）の紹介が書かれていること。
- ② 「出来事（事件）が起きる」部分では、登場人物が困ったり、不思議なことや意外なことが起きたりすること。
- ③ 「出来事（事件）が変化する」部分では、解決に向けて、出来事が動いていくこと。
- ④ 「むすび」の部分では、出来事（事件）が解決することが書かれていること。

同時に、表現の工夫についても触れていき、このあとの学習で児童が「自分の物語」を書くために大切なことをワークシートに書かせていく。

第三次では、第二次で読み取ってきた物語の四部構成が、他の物語にもあるのかについて調べさせ、話し合わせることで、「読む」学習をまとめ、自分の物語を「書く」活動へつなげていくようにさせる。

第四次では、「三年とうげ」では、物語がどのように組み立てられているか再度確認し、「三年とうげ」を読み取る際に使用したあらすじマップを生かしながら、「自分の物語」を書く際に必要な事柄を物語創作用のあらすじマップに書き出させる。そして、それを基に場面の移り変わりを組み立てメモに表現させ、物語の全体像について考えさせていきたい。

実際に物語を書く段階では、場面のつなぎ方を考えさせたり、身振りや顔つきを表す言葉、会話文などを使って登場人物の行動や気持ちを書かせたり、複合語や繰り返しの表現なども取り入れさせたりするなどして、物語の構成や文章表現を工夫する力を養っていきたい。さらに、書いた物語を読み合い、互いの作品のよさについて感想を交流する活動も仕組んでいきたい。

2 単元の目標

- 物語の組み立てをとらえて、登場人物の気持ちの変化や情景を想像し、物語を読んで考えたことを伝え合い、一人一人の考えについて違いのあることに気付くことができる。
- 経験したことや想像したことなどから物語の題材を決め、書く上で必要な事柄を集め、物語の組み立ての型を使って文章を構成し、「自分の物語」を書くことができる。

3 単元の評価規準

ア 国語への 関心・意欲・態度	1 物語の組み立てに興味をもち、想像を広げたり友だちと交流したりしながら、楽しんで物語を書こうとしている。
イ 書く能力	1 物語の内容に応じて必要な情報をそろえている。 【B書くこと(1)ア】 2 場面の移り変わりをとらえて物語の組み立てを考え、書いている。 【B書くこと(1)イ】
ウ 読む能力	1 物語がどのように組み立てられているかを考え、整理しながら読み、登場人物の気持ちを想像している。 【C読むこと(1)ウ】 2 物語を読んで感想を交流し合い、感じ方の違いに気付いている。 【C読むこと(1)オ】

エ 言語についての知識・理解・技能	1 文章中で使われている言葉に着目し、表現するための語句を増やしている。【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項(1)イ(わ)】
-------------------	---

4 指導と評価の計画（全12時間）

次	時間	学習活動	指導上の留意点	評価とその方法
事前	課外	○ 自分に起こった出来事をワークシートに書く。	・ 例文を示したワークシートを用意し、書かせていくようにする。	
一	1	○ 「三年とうげ」の読み聞かせを聞き、感想を話し合う。 ○ 学習課題を決める。	・ おもしろいと思ったところと理由について話し合わせ、物語の組み立てに興味をもたせる。 ・ 「組み立てを考えて物語を書こう。」という学習課題へとつなげる。	アー1 学習課題を決めるために、進んで話し合おうとしている。 [ワークシート①の記述・発言]
	2	○ 学習課題を確認し、課題を解決するための学習計画を話し合う。	・ 組み立てを考えて物語を書くために、教材文から物語の組み立て方や表現の工夫を読み取っていく目的意識をもたせ、学習計画表を作成させる。	アー1 学習計画について進んで話し合い、学習の見通しを計画表に書いている。 [ワークシート②の記述・発言]
二	3	○ 「三年とうげ」の全文を読み、物語の四部構成について知り、あらすじマップに事柄を書き出す。	・ 物語の四部構成を知らせ、出来事を中心に、いつ、どこで、だれが、何を、その後どうなったなどの事柄をあらすじマップに書き出させ、関係づけさせる。	ウー1 物語の組み立てを考えながら、出来事を中心に「いつ」「どこで」などの事柄を、あらすじマップに整理しながら読んでいる。 [ワークシート③の記述・発言]
	4	○ 「はじまり」の部分を読み取り、書き方を知る。 ○ 「出来事が起こる」部分を読み取り、書き方を知る。	・ 「はじまり」の部分は、物語が繰り返しられる場（時・場所・人物など）の紹介が書かれていることを読み取らせ、書き方に気付かせる。 ・ 出来事が起こる部分は、登場人物が困ることが書かれていることを読み取らせ、書き方に気付かせる。	ウー1 前半の部分に、作者が何をどのように書いているか、ワークシートに整理しながら読み取っている。 エー1 文章中で使われている言葉に着目し、表現するための語句を増やしている。 [ワークシート④の記述・発言]

	5	<p>○ 「出来事が変化する」部分を読み取り、書き方を知る。</p> <p>○ 「むすび」の部分を読み取り、書き方を知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 出来事が変わる部分は、解決に向かって、出来事が動いていくことが書かれていることを読み取らせ、書き方に気付かせる。 出来事（事件）が解決することについて書かれていることを読み取らせ、書き方に気付かせる。 	<p>ウー1 後半の部分に、作者が何をどのように書いているか、ワークシートに整理しながら読み取っている。</p> <p>エー1 文章で使われている言葉に着目し、表現するための語句を増やしている。</p> <p>[ワークシート⑤の記述・発言]</p>
三	6	<p>○ これまでに読んだ物語の中で、「三年とうげ」と同じような組み立てのものが他にもあったかを調べ、話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 図書室で「三年とうげ」の組み立てと同じようなものがあったかを調べさせ、話し合わせながら、第二次の学習をまとめる。そして、第四次の「書く」活動につなげていく。 	<p>ウー2 物語が「三年とうげ」と同じような組み立てで書かれていることをとらえている。</p> <p>[ワークシート⑥の記述]</p>
四	7	<p>○ 読んだことのある物語の組み立てや登場人物の魅力などについて話し合い、自分の物語のあらすじマップをつくる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 読んだことのある物語や自分が実際に経験した出来事や想像したことの中から題材を選ばせ、あらすじマップに必要な事柄を書き出させ、自分の物語の全体をとらえさせる。 	<p>アー1 想像を広げたり、友だちと交流したりしながら楽しんで物語を書こうとしている。</p> <p>イー1 物語の組み立てを考えながら、出来事を中心に「いつ」「どこで」などの事柄を選び、あらすじマップに整理しながら書いている。</p> <p>[ワークシート⑦の記述・発言]</p>
	8	<p>○ あらすじマップを基に組み立てメモを書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> あらすじマップで書き出した事柄を、四つの場面に分け、組み立てメモに、物語の組み立てを考えながら、短い文や簡単な挿絵で表現させていくことで整理させる。 	<p>イー2 あらすじマップを基にして、場面の移り変わりを考えて、物語の組み立てメモを書くことができる。</p> <p>[ワークシート⑧の記述・発言]</p>
	9	<p>○ 「三年とうげ」で学んだ書き方を生かして、はじまりの部分と出来事が起こる部分を書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> はじまりの部分は、物語が繰り広げられる場の紹介を書いていくことや敬体と常体が混じらないことを指導する。 出来事が起こる部分は、人物が困ったり、意外なことが起きたりすることや人物の行動や気持ちを書くために動作や身振り、顔つきを表す言葉を使うことを指導する。 	<p>イー2 場面の移り変わりをとらえて物語の組み立てを考え、文章に書いている。</p> <p>[原稿の記述]</p>

10 (本時)	○ 「三年とうげ」で学んだ書き方を生かして、出来事が解決へ向けて変化する部分を書く。	<ul style="list-style-type: none"> 出来事が解決に向けて動いていく部分を分かりやすくするために、新たな人物を登場させるなどして、解決に向かう言葉を入れて文章を書かせるようにする。 	
11	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「三年とうげ」で学んだ書き方を生かして、「むすび」の部分を書く。 ○ できあがったら、読み返す。 	<ul style="list-style-type: none"> 出来事（事件）が解決し、その後どうなるかなどを書いていくことを指導する。 文字のまちがいはないか、句読点や符号の使い方や場面のつながりはよいかなどを確かめさせる。 	
12	○ できあがった物語をみんなで読み合い、感想を伝え合う。	<ul style="list-style-type: none"> 友だちが書いた物語の構成や表現の工夫からよいところを見つけさせ、感想カードに書いて伝えさせるようにする。 	<p>ウー2 物語を読んで、感想を交流し合い、感じ方の違いに気づき、カードに書いている。 [感想カードの修正]</p>

5 本時の計画（10／12）

(1) 目標

- 場面の移り変わりを考え、出来事が変わる部分に、新たな人物を登場させ、解決に向かう言葉を入れて書くことができる。

(2) 展開

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
<p>1 前時の学習を振り返り,本時のめあてを確認する。</p>	<p>○ 前時に書いた原稿を基に学習を振り返らせ,本時は,「出来事が変わる」部分を書いていくことを確かめさせる。 また,出来事が変わる部分を出来事が解決に向かう部分として言い換え,本時のめあてをとらえやすくする。</p>
<p>場面のつながりを考えながら,出来事が解決に向かう部分を書こう。</p>	
<p>2 5時目に学習した「出来事が変化する」部分と「むすび」の部分の書き方を振り返り,学習の見通しをもつ。</p>	<p>○ 「三年とうげ」では,出来事が解決に向かう部分を分かりやすくするために,どういう書き方をしていたかワークシート⑤を基に想起させ,学習の見通しをもたせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな人物の登場 ・解決に向かう言葉
<p>3 「出来事が解決に向かう」部分の書き方を考えて書く。</p>	<p>○ ワークシート⑦の組み立てメモを基に,自分の物語のつながりを振り返らせ,前時に使用した原稿に続けて文章を書かせるようにする。また,段落の始めや会話の部分などの必要な箇所は行を改めて書くことも確認する。</p> <p>○ 早く終わった児童には,もう一度読み直して,誤字や脱字がないか確かめさせるように指示する。</p>
<p>4 書いた文章を読み合い,出来事が解決に向かうために必要な言葉を見つけ合う。 ※少人数(2～3人)のグループで読み合う→全体で出し合う</p>	<p>○ 「新たな人物を登場させ,解決に向かう言葉を書くことができたか。」という視点をもたせ,友だちと話し合わせる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【評価】 場面のつながりを考えながら,出来事が変わる部分に,新たな人物を登場させ,解決に向かう言葉を入れて書いている。</p> </div>
<p>5 本時の学習を振り返り,次時の学習について知る。</p>	<p>○ 原稿や板書を基に本時の学習を振り返らせ,5時目に学んだことが生かされたことを賞賛する。</p> <p>○ 次時は,「むすび」の部分を書いていくことを確認する。</p>

